

## 児童生徒のキャリア教育の推進に係る「学びのフィールド」創造のための 包括連携協定の締結について

### 1 目的

本協定は、串間市、串間市経済団体、宮崎県立福島高等学校、串間市教育委員会の四者が地方創生の基盤づくりのために、包括的な連携のもと、それぞれがもつ資源を有効に活用して、児童生徒のキャリア教育の推進に係る「学びのフィールド」を創造し、次世代を担う人材の育成や地域社会の活性化等を図る取組を実践していくことを目的とする。

### 2 連携協定締結の必要性

#### (1) 串間市

人口減少社会の中で、未来の串間市行政の維持、向上を図っていくためには、未来投資としての人材育成が求められる。

そこで、福島高等学校及び串間市公立学校における児童生徒のキャリア教育の推進に積極的に関わり、市行政の現状・財政等への関心を高め、主体的に市の未来を創造する思いを喚起し、将来、市行政に携わろうとする人材、「未来も串間で生きる」「未来は串間に帰る」という思いをもった人材を育成するために、包括連携協定の締結が必要である。

#### (2) 串間市経済団体

生産年齢人口の減少、後継者不足による廃業危機等が懸念される中で、本市経済の維持、向上を図っていくためには、串間で生きて、働く意義と気概を備えた人材育成が求められる。

そこで、福島高等学校及び串間市公立学校における児童生徒のキャリア教育の推進に積極的に関わり、串間が有する人的・物的資源を有効に活用して本市活性化を願う労働者の思いや願い、生き方にふれさせ、串間で生きていくことや未来の帰串への思いを抱かせる機会・選択肢の創造のために、包括連携協定の締結が必要である。

#### (3) 宮崎県立福島高等学校

入学者減による統廃合等が懸念される中で、串間市の地域創生の核として魅力ある学校となるためには、課題解決能力及び現実社会対応能力を備え、就職・進学に強い人材育成が求められる。

そこで、串間市の課題解決、活性化等を題材とした「地域創生学」の調査・研究の過程において、「串間で生きて働く大人」と積極的に関わり、課題解決に向けた取組や本市活性化への思い、願い等にふれさせ、「真の串間の魅力」を知り、次世代の串間を担う主体者としての意識の喚起を図ることのできる「学びのフィールド」創造のために、包括連携協定の締結が必要である。

#### (4) 串間市教育委員会

福島高校の魅力化づくりの基盤となる児童生徒の資質・能力の向上が懸念される中で、「社会に開かれた教育課程」の推進のもとに、未来に渡って学び続けようとする人間性を備えた人材育成が求められる。

そこで、小中高一貫教育の体幹をなす「くしま学」の学びの過程において、「串間で生きて働く大人」と積極的に関わり、課題解決に向けた取組や本市活性化への思い、願い等にふれさせ、「真の串間の魅力」を知り、福島高校「地域創生学」の学びの基礎となる資質・能力の向上を図ることのできる「学びのフィールド」創造のために、包括連携協定の締結が必要である。

### 3 連携協定による産官の小中高への主な支援について

- (1) 「地域創生学」、「くしま学」等の調査・研究に対する継続的な場の提供とアドバイザー的立場での支援等（※ 業務の一つとして支援）
- (2) 職場体験学習、インターンシップ等における体験活動等の場の提供
- (3) 串間で生きて働く思いや願い、働くことの意味・意義等に関する講話

### 4 今後の計画

平成31年4月からの「学びのフィールド」による地域創生学、くしま学等の実施に向けて、本年度内に活用システム等の整備を進める。

また、市総合政策課等と協議しながら、串間市教育委員会内に「学びのフィールド」連絡調整役（※パブリックコラボレーションコンシェルジュ）を配置し整備を進めていく。

